

銀杏学園
短期大学

同窓会だより

平成9年度



銀杏学園短期大学学長
野中 實男

判断

同窓会の皆様方には日頃大変お世話になって居ります。心から感謝申し上げます。先輩方の御活躍が無言のうちに学生たちに人間としての生き方を教えて呉れていると思われま

世の中の現象がいろいろと変化していくのは当然と思いますが、それらの中で犯罪の多発には本当に驚かされます。人を殺すことが何でもないように思っている人が多くなつたように思われます。

私が学生の頃、法医学の講義で習った殺人事例は棒安坂事件と段々堀事件であり、すでに何年も前のものであります。

今年の神戸の小学生殺害にかかわる一連の事件には全く驚かされました。一体どう考えたらよいのだろうかと思われま

人間が行動を起こすには、何のためにという目的意識が必要であり、その行動がどのような結果を引き起こし、その結果は善であるか悪であるかを考える必要があります。

ある時には考えて、考えて行動に移り、ある

時にはこれまで心の中にすりこまれた家庭教育、学校教育、社会教育等による、意識下の咄嗟の判断によって行動するものであると思つて来ましたが、判断性のない最近の事件には全く驚かされるばかりであります。

私の恩師、六反田先生には行動判断の基準として「大小軽重、遅速緩急、是非善悪、義理人情」という言葉を教えて頂きました。行動開始の判断基準とでもいふべきものでしょうか。

判断の判の字は斧をもって物を半分に分けることであり、断の字も旧字は断であり、つむがれた糸を刃物でたち切ることでもあります。従つて判断は物事を二つにたち切つて考えることであります。判断をするには、そのための基準が必要であり、その基準は正確で、明確でなければなりません。

日常の一般的な生活行動においても、あるいは臨床検査のような技術的な仕事においても常に正しい判断が求められます。

今、臨床検査は機械による検査が普及し、人はただ機械を動かすだけの錯覚に陥ることがあります。しかし、機械は人が作ったものであり、機械に仕事を命ずるのも人でありま

現状の判断基準は正しいものであるか、判断のやり方は間違いないか、常に考えながら毎日の仕事を、そして毎日の生活を行なつて行かなければならないとつくづく考えるこの頃であります。



銀杏学園短期大学同窓会会長
梅橋 豊蔵

ご挨拶

臨床検査の将来は暗い、ということを度々仲間内で話しますし、また試薬メーカー等臨床検査関連分野の人達からも折にふれ耳にします。

少なくとも臨床化学等の検体検査分野においては、環境要因を分析する時、その感が強いのは否めない事実であるかと考えます。検体検査分野に限定すると、ある面で人間としての理念も社会秩序も無視し、自由主義社会の競争原理のみに振り回され、結果として関連する人達の経済活動環境まで破壊しながら自滅行為に突き進んでいるような気がしてなりません。このことは検査を外注する側、受託する側、試薬メーカー、機器メーカー等関連分野全てに共通して言えることであると思ひます。自由競争の結果が医療費を安くすることにのみつながれば良いのであります。生活環境の歪みや、そのツケが患者にまで及ぶことも想定されるとなれば、それが襟を正すべきでありま

しかし、臨床検査全般という観点からみると「将来は暗い」という捉えかたは必ずしも妥当だとは考えられません。近代医療は科学的データをもとに診断・治療がほどこされる筈であり、また、将来ともこの傾向は変わらないと思ひます。将来予測をすることは大いに結構なことであります。そこから悲観的な予測のみ引出すのは当を得ていない感があります。このことをもつとマクロな観点で捉え、医療経営は暗いとなりますし、また景気低迷が構造的状況とな

た平成不況下の今日では、殆どの産業が先行き暗い状況にあり、社会全体がいささか閉塞状態と言えます。

冒頭から面白くない話を並べて気分が滅入ったことと存じますが、要は意欲の持ちようでありま

1年の経つのは誠に早いもので、今年も残すところ2か月余りとなりました。年を経る毎に1年というスパンが短く感じられるのは気のせいでしょうか。同窓会の次期役員改選により5期目を担当することとなりました。自分1人では何も出来ませんが役員をはじめ同窓生各位のご協力を戴きながら和やかな雰囲気の中同窓会として運営して行きたいと存じますので、何卒ご協力戴きますようお願い申し上げます。

今年も恒例の技術講習会が開催されますが、今回は銀大12期の会員が中心となって企画準備し、そして運営されます。一昨年から卒業期毎の担当制を導入したことにより、従来とは少し毛色の変わった講習会が開催されており、参加する会員にとつてもまた準備・運営する会員にとつても、望ましい形態となつてきたことを実感している次第です。また、前回から銀杏学園短期大学と共催という形態をとつて運営しておりますので、施設によつては「卒後教育受講の出張」としての申請等も可能と存じますので、何卒多くの会員の皆様にご参加戴きますようお願い申し上げます。

平成10年9月26日、27日の両日、熊本市において第33回九州臨床検査学会が開催されます。この機会を利用して是非県外在任の会員の皆様方にはご来戴戴きますようお願い致します。同窓会運営に対し、会員の皆様方の忌憚のないご意見を戴きますようお願い申し上げます。

ご存じですか？

私たちの学園歌

銀大界隈では、午後1時頃ともなると軽快なミニコーシツクが聞こえてきます。その正体はつぎようです。左に掲載している銀大の学園歌なのです。この学園歌が制定されて既に数年経つていますが、これまでご紹介する機会を逸していました。ここに改めて、私たちの学園歌をご紹介します。懇親会の席では必ず歌われますので、同窓生の方々、一緒に歌いましょう。

银杏学園歌

作詞 上野直彦
作曲 出田敬三

一 暁告ぐる 阿蘇の峰
遙かに望む 学舎に
医療の礎 築かむと
知識と技を 磨きつつ



二 夕陽今し 金峰に

白堊は映ゆる 学舎に
生命を護る 真心の
智と仁愛を 育みつつ

三 いぎ諸共に 学園の

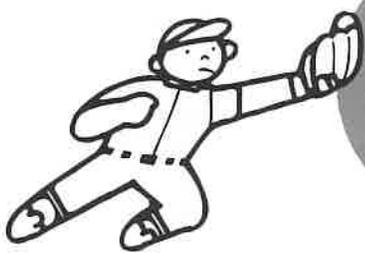
光を永久に 燭さなむ
いぎ諸共に 学園の
誇を永久に 讃へなむ

学園だより

赤いムベージ開設

银杏学園短期大学 学生部厚生課 関 嘉和

平成9年11月、学園は綺麗に刈り取られたグラウンド一面の芝生が秋の白差しに映えています。学生達は「杏祭」を目前にして、模擬店、文化展、色とりどりのステージプログラムの準備に工夫を凝らしています。杏祭が終わると、各学年各様に灯火親しむ勉学の日々を迎えることでしょう。特に3年次生は卒業試験、国家試験、そして就職に向け、学生生活の最も重要な時期を迎えることとなります。ここ数年好調な国家試験合格の実績を持続すべく、学生達はもとより学園一体となった支援の季節ともなります。就職でも、厳しい環境下にあっても好調を維持しており、これも同窓会各位の側面からの応援あつてのことと感謝しております。さて今回は、学園にホームページを開設しインターネットで学園情報を流すことになったことを紹介します。学園ではそれを同窓会との情報交換にも役立てたく、既に来年1月17日(土)



白球を追って

皆さんご存じでしょうか。銀大OBソフトボールチームのことを……。1977年に発足し今年で20年となります。今年の成績は、春季大会にて3回戦進出し、早起き野球大会では予想に反しての好成績を残し、朝の澄んだ空気にも増して清々しい笑顔を見ることが出来ました。昼間は気難しい某病院の〇〇技師も、グラウンドでは少年に戻りその姿に思わず黄色い声援を送るのです。仕事を抜きに、世代を越えて、一つの事に夢中になる姿はとても魅力的です。しかし、とても楽しく、活気のある(!?)このチームに問題が一つ。試合日が平日ということでメンバーが揃わないことがあります。如何でしょうか、私たちと、白球を追ってみませんか。怪我のない、笑いのある我がチームへどうぞおいで下さい。心よりお待ちしております。

問い合わせ先

银杏学園短期大学

☎(096)344-7611 福岡まで



ホームページアドレス

<http://www.sysken.or.jp/ginkyo>

メールアドレス

gko162@bronze.ocn.ne.jp

現代医療の一翼を担う九州屈指の医療短大。 ぎんきょう 银杏学園短期大学



●衛生技術科100名
(臨床検査技師育成-3年制)

●看護科40名
(看護婦<士>育成-2年制 高卒准看資格者)

■入試科目
【衛生技術科】

◆推薦

小論文(800字以内)、理科(物理I・B、化学I・B、生物I・Bの中から1科目選択)、面接、健康診断

◆一般

数学(数学I・II)、外国語(英語I・II)、理科(物理I・B・II、化学I・B・II、生物I・B・II)の3科目の中から1科目選択、面接、健康診断

■平成10年度入試日程

	学科	出願期間	試験日
推薦	各課共通	11月12日~11月22日	12月4日
一般	衛生技術科	一期	1月6日~1月17日
		二期	3月6日~3月12日
	看護科	1月6日~1月17日	2月4日

【看護科】

◆推薦

小論文(800字以内)、看護学、面接、健康診断

◆一般

基礎科目[国語(現文)・数学I・英I]、看護基礎医学、看護学、面接、健康診断

■募集要項(千共1,000円・小為替のみ)の請求は教務課まで。

ぎんきょう

银杏学園短期大学

〒860 熊本市大塚一丁目6-2

☎096(344)7611(代表)・☎096(356)5656(教務課)